

六甲山と野生動物

～これからの野生動物とのつきあい方編～

1

こんな風に思っていないですか？



2

でもよ〜く考えてみてください

彼らはペットではなく野生動物なのです。



自然界で生まれ、人に頼らず生きて行く能力を持った彼ら(野生動物)は、自らの力でエサを探し生活することで適正な頭数を保ち自然界の中でバランスをとって生存しています。

私たち(ヒト)が、エサを与えたり彼ら(野生動物)の生活に関わることで自然の中で生きることができなくなった彼ら(野生動物)は、私たち(ヒト)に頼らないと生きていけなくなり、私たち(ヒト)の生活圏に出没し襲うなど悪影響を及ぼすようになってしまいます。



3

野生動物と共存していくには…

彼ら(野生動物)と共に生きていくためには、私たち(ヒト)が一定のルールを守り、彼ら(野生動物)の生活を乱さないことが大切です。

野生動物とヒトの関わり方



- ゴミ出しルールを守って野生動物を都市部に呼びこまない。
- エサを与えて、人慣れした野生動物を増やさない。



ふろく もしイノシシに出会ったら…

- 大きな声を出したり、追い払ったりしない。
- あわてずゆっくり後ずさりしてその場から離れる。
- 持っている袋に執着しているようであれば袋を体から遠くに離して逃げる。



六甲山と野生動物

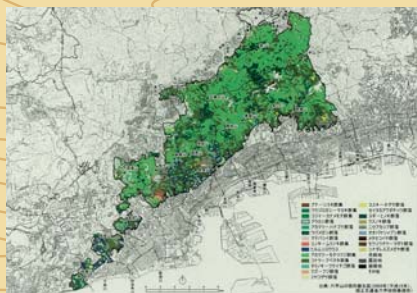
～現状編～

六甲山には餌がたくさんあります。

六甲山系に植生するコナラやカシなどの木の実・ドングリは、イノシシの秋の主要な食物です。イノシシは、栄養価の高いドングリを食べることで餌資源が乏しい冬季に備えます。広葉樹が優先する現在の六甲山は、イノシシにとって豊富な餌環境であるといえます。

参照：兵庫県森林動物研究センター
[兵庫ワイルドモノグラフ6号]

六甲山の現存植生



六甲山イノシシ



イノシシとヒトの生活場所はだんだん近づいています。

住宅エリアの変遷

1979(昭和54)年



1995(平成7)年



2012(平成24)年



参照：六甲山森林整備戦略

ゴミ出しルールを守らない



エサやり



写真提供：兵庫県森林動物研究センター

ネコのエサ管理



写真提供：兵庫県森林動物研究センター

ネコのエサを野生動物も食べてます!!

イノシシが市街地に出没するようになりました

その結果

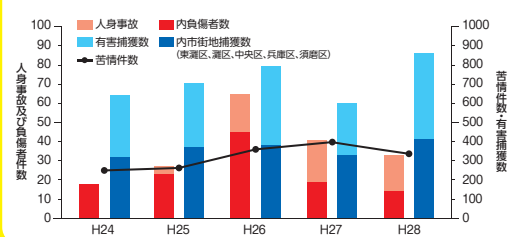
人身被害

イノシシにとっても
災難

交通事故

ゴミ食害

神戸市内のイノシシ被害に関する件数



被害発生

環境被害



写真提供：兵庫県森林動物研究センター



写真提供：兵庫県森林動物研究センター

